

科目名 (英)	臨床鍼灸学Ⅰ	必修 選択	必修	年次	2年次	担当教員	
	Diagnostics of Acupuncture and MoxbustionⅠ	授業形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
学科・コース	鍼灸科					曜日・時限	
【授業の学習内容】							
鍼灸臨床における診察は、東洋医学の「四診」に代表されるよう、直接患者さんを「視る」、「触る」、患者さんから「聞く」ことにより情報を得る。これによって得られた情報を、学んだ知識と照らし合わせ、病態把握(病苦の原因の推察)を行い、必要な治療計画を立てるのが「臨床」である。これを可能にするのが、診察の技術と知識を活用する力である。 臨床鍼灸学はⅠとⅡで構成されている。このうち、Ⅰでは臨床の入口であり、「患者とのコミュニケーション構築」に最も重要な働きを担う医療面接について、その目的、重要性、基本的な医療面接の流れと話を聴くための技術について学習する。また、聴取した情報や検査で得られた所見の記録として、カルテの記載方法についても学習する。 齊藤 実務実績 鍼灸院、高齢者施設での診察から治療までの業務に従事 医療系専門学校にて教鞭をとる。 資 格 はり師、きゅう師							
【到達目標】							
基礎医学系、臨床医学系で学習した内容を整理し、診察場面(問診から各種徒手による検査)において活用する力を身につけるとともに、医療従事者として患者さんと関わる上での身構え、心構えを身につける。 ＜具体的な目標＞ 目標①医療面接の目的を理解し、共感と思いやりの心をもって必須項目の聴取ができる。 目標②インフォームドコンセントの意味を理解し、患者にとって分かりやすい説明ができる。 目標③カルテの重要性と各項目の意味を理解し、正確なカルテ記載ができる。							

授業計画・内容	
1回目	授業の流れと評価方法を理解できる。 医療面接の目的と患者の心理について説明できる。
2回目	病態把握に必要な思考と、関係構築に大事な点を説明できる。
3回目	適切な施術室のセッティングと医療面接への導入ができる。
4回目	各聴取項目の意義を理解し、適切な聞き方が答えられる。
5回目	医療面接ロールプレイ&ディスカッション①:模擬症例を用いて、医療面接の流れを実践できる。
6回目	病態把握に必要な思考に照らして、前回の実践の振り返りができる。
7回目	開かれた質問と閉ざされた質問の特徴が理解できる。
8回目	医療面接ロールプレイ&ディスカッション②:模擬症例を用いて、病態把握を意識した医療面接の流れを実践できる。
9回目	【小テスト①】医療面接の目的と聴取項目 カルテの意義と各項目の意味①:主訴、現病歴の書き方が実践できる。
10回目	カルテの意義と各項目の意味②:検査所見の書き方が実践できる。SOAP形式の記載方法が理解できる。
11回目	カルテに用いられる略語、効果判定の尺度:略語を活用しながら治療内容の書き方が実践できる。
12回目	医療面接ロールプレイ&カルテ記載①:目的を達成できるような医療面接が実践できる。聴取した内容を基に、正しいカルテ記載ができる。
13回目	医療面接ロールプレイ&カルテ記載②:目的を達成できるような医療面接が実践できる。聴取した内容を基に、正しいカルテ記載ができる。
14回目	【小テスト②】カルテの意義と書き方 再診時の医療面接:再診での聴取ポイントを理解できる。
15回目	医療面接ロールプレイ&カルテ記載③:目的を達成できるような医療面接が実践できる。聴取した内容を基に、正しいカルテ記載ができる。
準備学習 時間外学習	いずれの目標についても、必要な「知識」の習得と実践を通じての「慣れ」が必要です。実践については、授業内でも行いますが、回数に限りがあります。各授業終了後の「知識」の復習とあわせ、学生同士でのロールプレイを繰り返し行うようにしましょう。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生への メッセージ	この授業ではロールプレイを多用します。本来は「患者さん」を相手に行うことを、学生同士でトレーニングすることになります。ここで重要なのは、患者役がいかに患者になりきるかです。それを通じて「患者の立場」を学ぶことができますし、鍼灸師役の学生も本当の患者さんのつもりで対応することで、自分が「患者からどう見られているか」を知ることができます。そういう意識をもって、ロールプレイを行ってください。
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書:滋慶認定実技審査対応 ずっと使える!鍼灸臨床BOOK 滋慶出版 参考書:	